

師範位検定課題
条幅部半紙臨書部検定課題

臨書入門

(二十五日×切)

作品には必ず支部名・会員番号・姓号を鉛筆で、作品の左下隅に記入して下さい。

今月の師範の課題は、木村ト堂先生の「草書千字文」です。

草書は形だけ似ていても、筆の運びが違っていると、別の字になってしまうことがありますから、よく注意しましょう。

参考作品です。(手本ではありません)

嫡後嗣續、祭祀蒸嘗。稽顙再拜、悚懼恐惶、牋牒簡要。
お煉燈五惶村標骨岳

ふくま とう

とう

作品の大きさは半折(二三六cm×三五cm)です。

ここに横書きで一列にご記入下さい

↑
所属・師範位・会員番号・姓号

〔釈文〕嫡後嗣續、祭祀蒸嘗。稽顙再拜、悚懼恐惶、牋牒簡要。

〔読み方〕嫡後^{てきご}は嗣^{しぞく}続^{ぞく}し、祭^{さい}祀^し蒸^{じょう}嘗^{じょう}す。稽^{けい}顙^{どう}再^{さい}拜^{はい}し、悚^{しよく}懼^く恐^{きよう}惶^{きよう}す。牋^{せん}牒^だは簡^{かん}要^{よう}に、

〔意味〕あととりは両親の後を継ぎ、代を絶やすことなく、四季おりおりの祭礼を行う。祭礼の時は、ひざまずいて二度ひれふし、恐れつつしみ敬うものである。人に手紙を書く時は、簡単明瞭に。





意先 筆後
木村 東道

燕趙悲歌士 相逢劇孟家
寸心言不盡 前路日將斜

〇〇五□□

縦四尺五寸 (一三六cm) × 横一尺一寸五分 (三五cm)

ここに横書きで一列にご記入下さい

↑
所属・段位・会員番号・姓号

燕趙悲歌士 相逢劇孟家
寸心言不盡 前路日將斜

小雅仙



注釈 唐詩選 五言絶句 第四十七

作者「錢起」題「逢俠者」(俠者に逢う)

本文 燕趙悲歌士 相逢劇孟家

寸心言不盡 前路日將斜
(読み方) 燕趙(えんてう) 悲歌(ひか)の士
相逢(あひあ)う 劇孟(げきもう)の家
寸心(すんしん) 言い尽(いじん)さず
前路(ぜんろ) 日將(ひまさ)に斜(なな)めならんとす

注釈 〇俠者 男伊達。〇燕趙悲歌

士 俠者をさす。燕は今の北京の辺り、趙は今の山西省。この地には悲歌

慷慨(こが) (悲壯な歌をうたい、社会の不義

や不正を憤り嘆くこと)の氣に富む俠

者(愛国の士)がいた。〇劇孟 前漢

の人。俠者として知名。〇寸心 自分

の氣持ちを謙遜して言う。〇言不盡

言い尽くせない。〇前路 行く手。

意味 悲歌慷慨する燕趙の俠者と、劇孟の如き人物の家で出会った。愛国の思いで意氣投合したが、十分に胸中を語りつくせぬうちに、行く手を見れば、もう日が暮れようとしている。

習い方 級位の時は、半紙の課題です

から、机の前に坐ればよいので、余り

場所をとりませんが、条幅となると、

道具を用意するにも狭い場所では他の

ものを片づけなければ書けません。場

所も取るし、大袈裟(おおげさ)です。前(まへ)の日から準備(おぼ)しておくことをお勧めします。

条幅課題の中身は漢詩ですから、繰り返しよく読んで、詩の意味もしっかり把握(はあく)しなければなりません。また、

筆順が大切です。墨が滲んで潰れた字は、筆順が分かりにくいものですから、不明な字は、「書道字典」などを引くことが重要です。間違った字を書いたのでは「書」とはいえません。

※本課題を半紙四枚に書いた**執筆動画**が有ります(三三〇円)。ご利用ください。